

幻想的な夜の光

ホタル
なんでもQ&A



ホタルを見に行こう!!

川辺に光る幻想的な光。ホタルの生態を知って
初夏の夜、ホタルを見に出かけてみませんか??

ホタルが見られる
おすすめスポット



Q1.なぜ光るの?

A. それは、オスがメスにフロポーズするためです。オスはメスの光を見つけると強い光を発してメスに信号を送り、メスもそれに応えるように強い光をオスに送るのです。こうして交尾し、メスのホタルは河原の石やツケに産卵します。

光るしくみとしては、ホタルが呼吸することで取り入れた酸素が、発光器内にあるルシフェリンという発光物質とルシフェラーゼという酵素に反応することで発光します。

Q2.何を食べるの?

A. ゲンジボタルはカワニナ(巻貝)しか食べません。ヘイケボタルはカワニナやタニシ、モノアラ貝などを食べます。

一方で、飛び交うようになってからは何も食べず、幼虫の時に摂った栄養が体内に残っているので夜露だけで生きています。

Q3.ホタルの寿命はどのくらい?

A. 幼虫から成虫になるまで約1年。成虫になってからはオスが約5~10日間、メスが約7日~14日間とされています。

ホタルが現れやすい条件は??

- ・風が無く、むしむしするような湿度の高い暖かい日
- ・月明かりが無く、曇っている日
- ・19時~21時のあいだ。20時台がピークです。

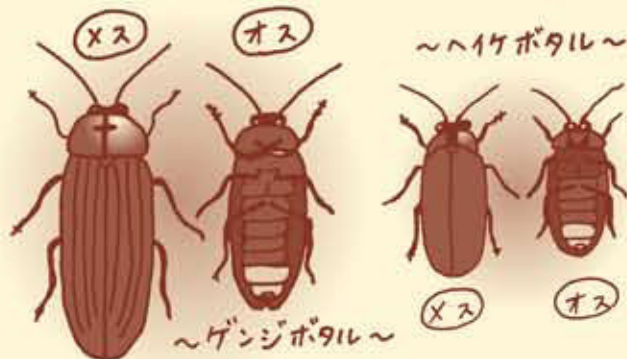
~ホタル観賞時に気を付けること~

- ・光は厳禁! ホタルは強い光を嫌います。車のライトや懐中電灯、カメラや携帯電話のフラッシュ等もなるべく控えましょう。
- ・捕獲はしない。 絶滅の危機に瀕している希少な生物なので捕まえるのは厳禁です。手を触れず、そっと観賞しましょう。
- ・ごみは持ち帰る。 ごみによって川が汚染されることはホタルの生態をおびやかすことになってしまいます。ホタルが住める環境を守っていきましょう。

知っておこう!

~ホタルの見分け方~

日本には、約40種類のホタルがいると言われています。そのなかでも発光し、よく知られているものにゲンジボタルやヘイケボタルがいます。



〈ゲンジボタルとヘイケボタル〉

ゲンジボタルは体長約12~18mmで、きれいな流れのある川に住んでいます。背面前胸にある十字形の模様が特徴で、1分間に約30回発光します。ヘイケボタルは体長約7~10mmで水田や水路、小川などに住んでいます。背面前胸の模様は直線形で、1分間に約120回発光します。

〈オスとメスの見分け方〉

オスとメスを見分けるには発光器を見ます。発光器が2つになっているのがオスで、1つになっているのがメスです。体の大きさは、どちらもメスの方が大きいということも特徴です。水辺を飛び回っているものはほとんどがオスで、メスは弱い光を放ちながら葉や茎にとまって空を飛ぶオスの発光に応えます。

ゲンジボタルはその名からも想像できるように、紫式部の物語『源氏物語』の主人公である光源氏から付けられたもので、ヘイケボタルは後にゲンジボタルの「源氏」と対比で平家(へいけ)の名前が付けられたと言われています。

岩瀬ほたるの里

〈所在地〉新潟県十日町市岩瀬子
〈鑑賞期間〉6月下旬~7月下旬
〈問い合わせ先〉十日町市観光協会 川西事務所
025-768-4951

大月ほたるの里

〈所在地〉新潟県南魚沼市大月1011-1
〈鑑賞期間〉6月中旬~7月中旬
〈問い合わせ先〉南魚沼市観光協会
025-783-3377

*6月下旬には「大月ほたる祭り」が開催予定です。

また、十日町、川西、中里、松代では広い範囲で天然のホタルを見ることが出来ます。お近くの水田や川辺でも、幻想的なホタルの光を見ることが出来るかもしれません☆☆☆

ホタル関連作品あれこれ

〈曲編〉

- ・螢/サザンオールスターズ (映画 永遠の0 主題歌)
「生まれ変わったならまた恋もするでしょう
抱(いだ)き合い命燃やすように」

・螢/福山雅治

「いま 螢火のように僕ら 生命の火を燃やしている
ちっぽけでも どんな悲劇さえも 焼き尽くすように」

〈書籍編〉

・とべないホタル/小沢昭巳

作者が新米教師時代に、教え子をいじめから救おうと書いた童話。児童書としては驚異的なベストセラーです。